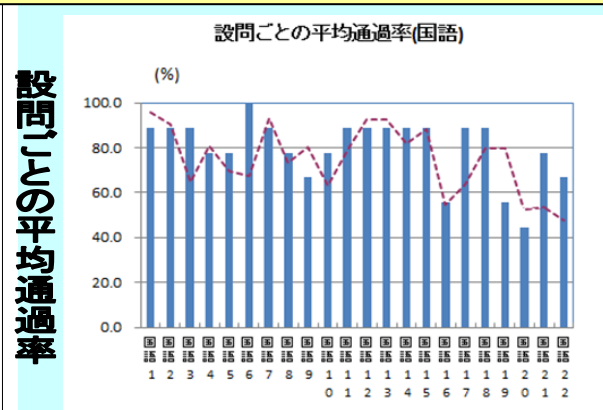
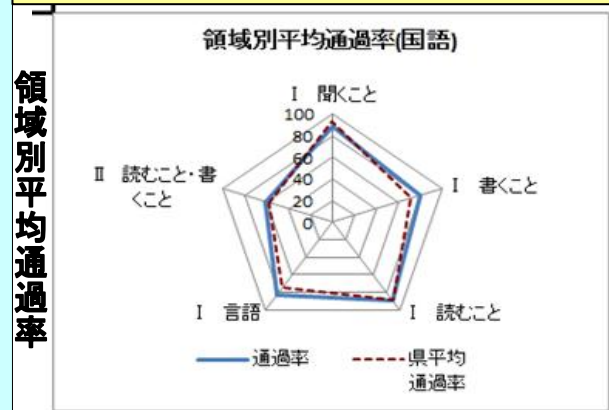
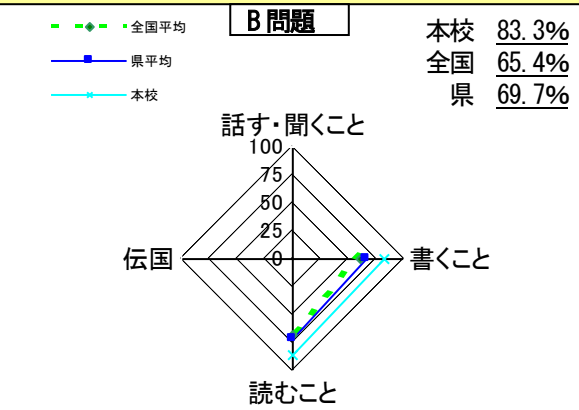
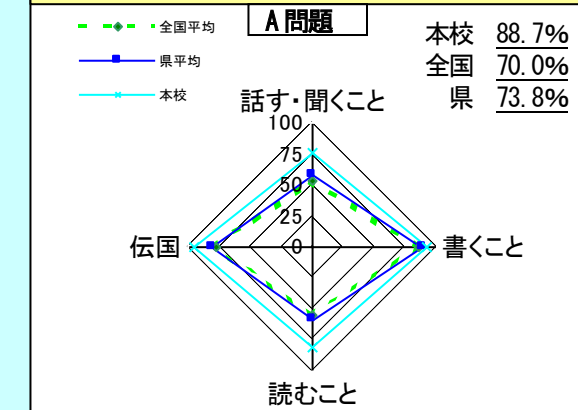


# 指導方法等の改善計画について〔国語〕

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 79.8%, 県74.7%)



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



**重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査**

◎ 複数の資料から必要な情報を取り出し、それらを関係付けて自分の考えを書く問題に課題がある。資料の内容を読み取り、例文を参考にして必要な情報だけを取り出して書くことができない児童が 55.5% (通過率 44.5%)

◇ 新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える問題に課題がある。コラムの中に「 」を使って引用していることが読み取れていない児童が 66.7% (通過率 33.3%)

◇ 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く問題に課題がある。インタビューの様子を読み取り、複数の情報を組み合わせて文章を書くことができない児童が 58.3% (通過率 41.7%)

※【小中一貫】情報の取り出し、根拠を明確にして記述することに課題がある。

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

◎ メモの取り方を指導し直し、目的をもって聞き、大切なことを落とさずにメモを取ったり、資料から読み取った内容をメモしたりする活動を、授業のはじめやドリルタイムで段階的に取り入れていく。また、与えられた条件に合う内容を取り出せるようにキーワードを見つける、要点をまとめる、要旨をとらえる指導を簡単な文章を使って繰り返し行っていく。メモを取ることができるように、速く文字を書く指導も個別にしていく。

◇ 筆者が思いや考えを伝えるための表現の工夫の種類を指導し、実際に新聞のコラムに触れ、その中でどの工夫が使われているかに着目させて読み比べる活動を取り入れる。

◇ 読み手に伝えたいことの内容を明確にし、自分で調べた内容や取材した事柄の中から、適切な分量にまとめて書く活動を他教科でも行っていく。

※【小中一貫】 複数の資料を読み取り、必要に応じた情報を取り出し、自分の根拠として活用できるように繰り返し指導していく。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 単元テスト	5年生 「基礎・基本」再テスト	全学年 単元テスト	全学年 学期末テスト	4年生 H27「基礎・基本」	全学年 単元テスト	全学年 学年末テスト
目標値	80%	70%	80%	80%	70%	80%	80%
実施後数値	87.6%	75%	86.8%	89.5%	64%	90.2%	87.1%

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 単元テスト	6年生 「全国学力」再テスト	全学年 単元テスト	全学年 学期末テスト	5年生 H27「全国学力」	全学年 単元テスト	全学年 学年末テスト
目標値	80%	70%	80%	80%	70%	80%	80%
実施後数値	87.6%	78.7%	86.8%	89.5%	67.5%	90.2%	87.1%

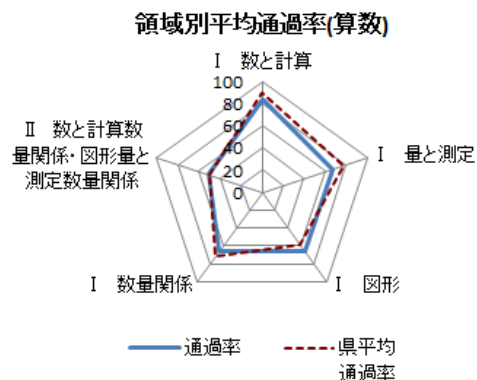
**来年度に向けて**

複数の資料を、自分の目的に応じて読み取ることや、伝えたいことを分かりやすく表現することの定着が不十分と考えられるので、いろいろな資料を読み、要点をまとめるなどの「読む・書く」指導を継続していく。

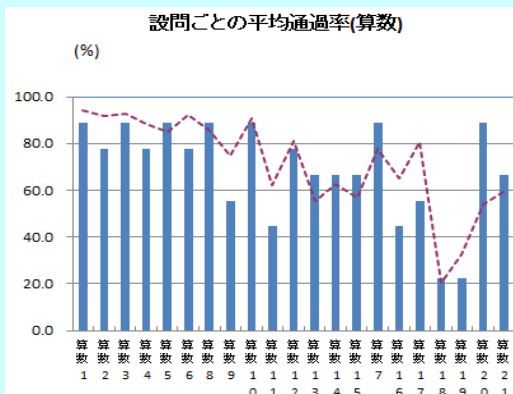
# 指導方法等の改善計画について [算数]

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 68.8%, 県71.6%)

領域別平均通過率

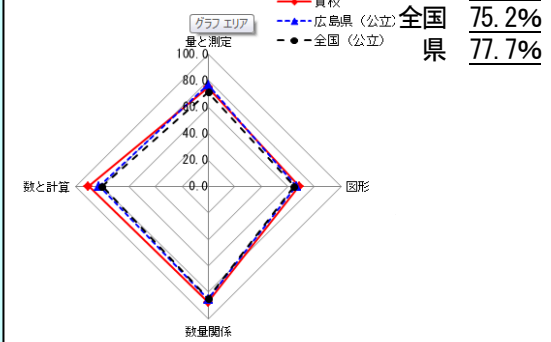


設問ごとの平均通過率

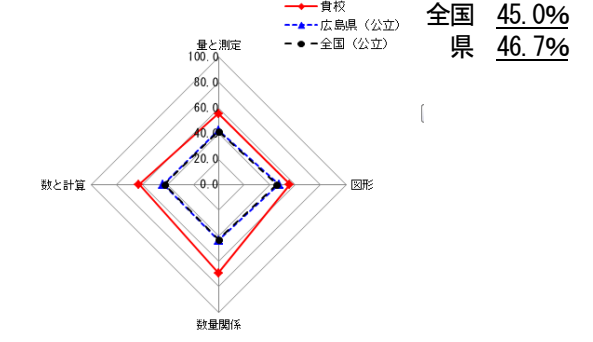


## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率

### A問題



### B問題



### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 数量関係の領域で折れ線グラフと棒グラフを関連づけて考えることができない児童が77.8%。「折れ線グラフの変化を棒グラフに表した時の変わり方の読み取り」(通過率22.2%)
  - ◇ 「図形」の領域において、長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された2つの図形の面積が等しくなるわけを言葉や数、記号を用いて記述することができなかった児童75.0%。(通過率25.0%)
- ※【小中一貫】 算数の用語の意味を正しく理解し、適切に用いながら筋道を立てて自分の考えを説明することに課題がある。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎ 問題文の中から、必要な情報を正しく選択したり、見積もり、見通しを数的、量的なイメージを持たせたりするために類似問題を解かせる。ドリルタイムで実施し定着を図る。
  - ◇ 類似問題に取り組んだり、問題の条件や数値を一部変更した新たな問題を作ったりする活動に取り組んでいく。
- ※【小中一貫】 算数の用語の意味を理解させ、用語を利用して説明する場面の設定をする。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 復習テスト	5年生 小テスト	4年生 復習テスト	5年生 小テスト	4・5年生 算数テスト	4年生 H27「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	60.0%	70.0%	70.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
実施後数値	73.0%	77.0%	86.0%	73.0%	76.5%	68.0%	75.5%

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年生 復習テスト	5・6年生 小テスト	5・6年生 小テスト	5年生 H27 「全国学力」	5・6年生 小テスト	5年生 算数テスト	5年生 学年末テスト
目標値	60.0%	70.0%	70.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
実施後数値	74.8%	79.4%	83.3%	71.5%	82.8%	80.5%	79.0%

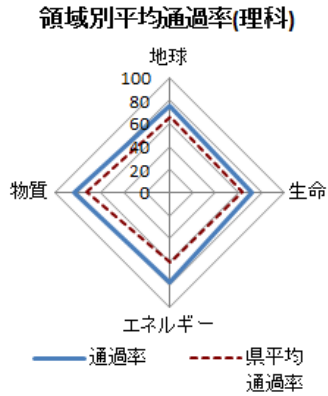
### 来年度に向けて

問題文から必要な情報を読み取ることや、算数用語を使って説明することの定着が不十分と考えられるので、授業の中で算数用語を使って説明する活動を取り入れるなど、算数用語の確実な理解を図り、活用する指導を継続していく。

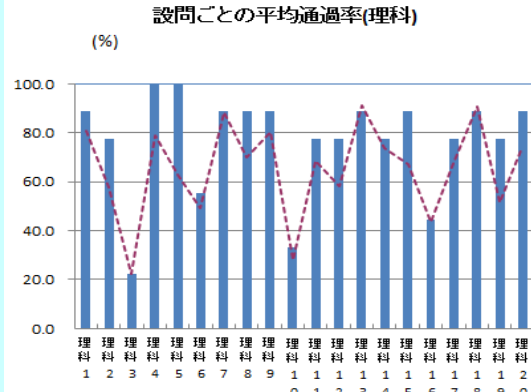
# 指導方法等の改善計画について [理科]

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 76.7%, 県65.3%)

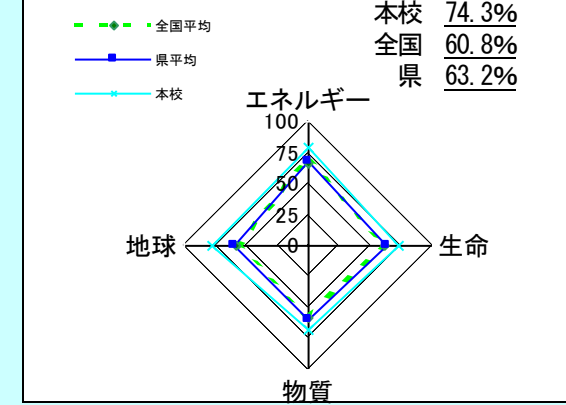
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎① 電池の並列つなぎを理解する問題に課題がある。並列つなぎを図で表すことができない児童 77.8% (通過率 22.2%)
  - ② 方位磁針と方位の関係を理解する問題に課題がある。2つの関係を東西南北で解答できない児童 66.7% (通過率 33.3%)
  - ◇① 砂糖水を対象として、物の溶け方の規則性について考える問題に課題がある。析質量を分析するためにグラフを基に考察し、その内容を記述することができない児童 75.0% (通過率 25.0%)
  - ② 電磁石とふりこの性質や規則性を関連付けて考える問題に課題がある。2つの性質や規則性を基に条件整理をすることができない児童 58.3% (通過率 41.7%)
- ※【小中一貫】 基礎的基本的な知識・技能が十分に身に付いていない。

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎① 電池の並列つなぎを一人一人が、実際に行うと共に、実験方法や実験結果を、言葉だけでなく、図で表していく学習を継続して行う。
  - ② 理科だけでなく、社会科の地図の見方等とも関連させて、空間をとらえさせる。また、教室に「東西南北」を掲示したり、方位磁針を常備したりするなど、日常生活との関連を図り、「東西南北」の空間認識を育てる。
  - ◇① 物の溶け方の規則性を、実験を通して確かめることを大切にすると共に、実験の結果を表やグラフに表し、考察する学習を継続していく。また、算数科のグラフの学習との関連を図り、基礎的なグラフのかき方やよみ方を繰り返し行うことで定着させていく。
  - ② 既習学習との関連を図り、意図的に条件を提示し、必要な条件を選んだり、その条件を意識しながら実験を行ったりできるようワークシートや掲示物を工夫する。
- ※【小中一貫】 基礎的基本的な知識・技能の定着を図るため、ドリル学習や毎時間の復習などを行っていく。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3, 4年生視点にあった観察・実験	3, 4年生復習テスト	3, 4年生小テスト	3, 4年生学期末テスト	3, 4年生復習テスト	4年生 H27「基礎基本」	3, 4年生学年末テスト
目標値	90%	80%	90%	80%	80%	80%	85.5%
実施後数値	100%	89.4%	85.6%	87.4%	87.4%	74.0%	87.2%

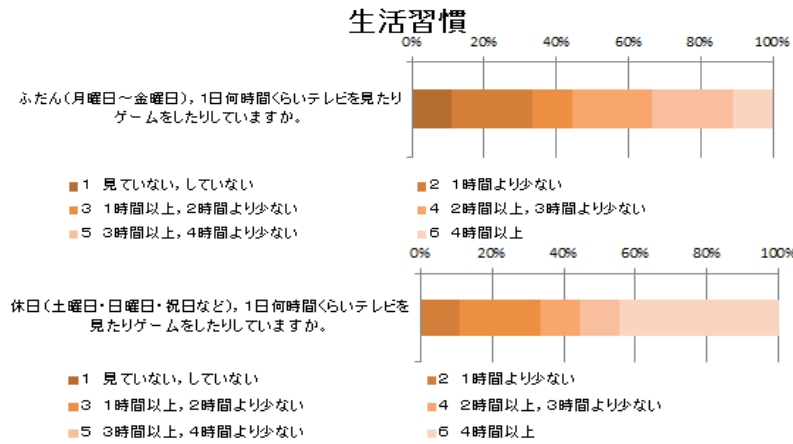
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5, 6年生視点にあった観察・実験	5年生 H27「基礎基本」, 6年生 H27「全国学力」	5, 6年生小テスト	5, 6年生学年末テスト	5, 6年生復習テスト	5年生 H27「全国学力」	5, 6年生学年末テスト
目標値	90%	80%	90%	80%	80%	75%	85.5%
実施後数値	100%	82.3%	86.8%	86.5%	79.8%	63%	87.8%

### 来年度に向けて

めあてをはっきりと持たせて、実験や観察を行うことにより、規則性や定義を理解させる。実験方法を図に表したり、実験器具を実際に操作したりする学習を継続して行うことにより、実験器具の名前を確実に覚えたり、操作技能の定着を図ったりする。

## 2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

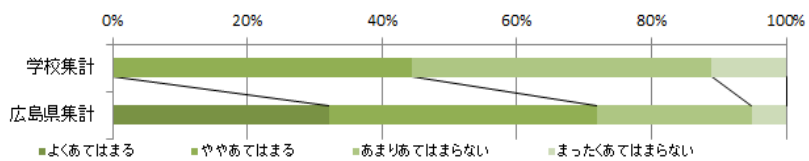
### (1) 生活・学習



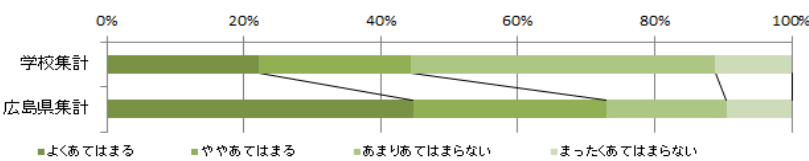
	児童の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	テレビを見たりゲームをしたりする時間が長い。 ・平日 3 時間, 4 時間未満 22.2% ・休日 4 時間以上 44.4%	家庭と連携して、「生活ふり回りカード」を活用していく。具体的な取組として、目標時間を設定し、実践できたか振り返りさせる。	5	85%	・生活ふり回りカード ・小中一貫教育目標達成のための取組	9月, 1月 学期末	88%	+10.2%
全国	毎日, 決められた時刻に就寝できていない児童が多い。 ・あまりできていない 16.7%	家庭と連携して「生活ふり回りカード」を活用していく。決められた時刻に就寝できるように意識させる。	6	85%	・生活ふり回りすいみんチェックカード ・生活ふり回りカード	毎月一週間 9月, 1月	80%	-3.3%

### (2) 教科

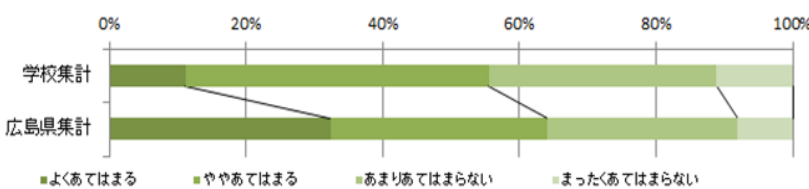
国語の授業の中で、伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。



算数の勉強は好きです。



理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。



「基礎・基本」定着状況調査の調査結果入力ファイルで作成されるグラフを適宜活用する。

	児童の回答についての課題(現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書くことが苦手である。(56%)	読書や新聞を読むことを増やし、読解力を身に付けさせる。 構成メモの指導もしていく。	5	80.0%	児童アンケート	3月	100%	+56%
	全国 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫することが苦手である。(8.3%)	自分の考えをノートに書かせたり、発表したりするときには主語をつけて、根拠を明らかにして、自分の言葉で伝えさせるように指導していく。	6	80.0%	児童アンケート	3月	100%	+8.3%
算数	基礎・基本 算数の授業では、自ら進んで考えたり操作したりすることが苦手である。(44.4%)	児童の興味関心がわくような問題提示や具体物を使った操作などを工夫する。	5	70.0%	児童アンケート	3月	85.7%	+30.1%
	全国 算数の授業に苦手意識を持っている。(50%)	簡単な基礎的な問題をくり返し行ったり、ペアトークやグループ討議で自分の考えを話す場を多く取り入れたることによって自信を持たせ、苦手意識を払拭させる。	6	70.0%	児童アンケート	3月	83.3%	+33.3%
理科	基礎・基本 理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり、発表したりすることが課題である。(44.4%)	授業の中で、ペアトークやグループ討議を積極的に取り入れ、実験の予想やまとめ等を周りの友達と話し合う場を意図的に設定する。	5	85.0%	児童アンケート	3月	83.3%	+27.7%
	全国 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思えますか。(肯定的評価 41.7%)	今、学習している内容が、日常生活や職業とどのように関わりがあるかを児童に意識させながら、授業を組み立てる。	6	85.0%	児童アンケート	3月	50.0%	+8.3%